

社会福祉法人 鹿児島市身体障害者福祉協会  
令和3年度 事業報告

1 はじめに

いっこうに収束しないコロナ感染も昨今では、コロナ禍を日常とする「ウイズコロナ」に方向転換し、経済もしっかり後支えするような形になって参りました。

しかしながらコロナ感染拡大防止は、避けて通れませんので令和3年度行事もその殆どを中止しております。

会員の皆様にも交流の機会が激減し大変申し訳なく思っております。

そんな中での令和3年度でしたが、当協会の決算につきましては今までの努力が少しずつではありますが報われるようになりました。

単年度収支ではありますが、事業活動収入が71,500,000円（前年比1.2）なかでも国保連の自立支援給付費は、48,000,000円を超えて天保山作業所開設時の平成27年度の水準まで盛り返して参りました。

これも、理事、評議員の皆さんと知恵を出し合い、会員や福祉関係団体等の皆様のご協力をいただき、市との連携を図りながら、ご理解ご支援をいただきました賜物であると心から感謝を申し上げます。

2 令和3年度の事業報告

(1) 市受託事業・補助事業の実施

- ・ 鹿児島市身体障害者一日レクリエーション  
コロナ感染防止の3密を避けるために、11月7日、24日の2日間で実施し、それぞれバス3台（総参加者143人）の「鹿児島市内観光」を実施しました。
- ・ 鹿児島市身体障害者体育大会  
不特定多数の密を警戒して中止しました。

(2) 姉妹協会「宮崎身体障害者福祉協会」との親善交流

鹿児島・宮崎姉妹協会親善交流スポーツ大会  
宮崎での開催予定でしたが県外への自粛要請を受けて中止しました。

(3) 障害者福祉推進及び研修事業

- ・ 日本身体障害者福祉大会（東京）オンライン配信
- ・ 九州身体障害者福祉大会（熊本）12/2~3 実施

(4) 社会参加促進事業

障害者作品展 県障害者スポーツ大会、ゆうあい館交流フェスタなど中止されました。

(5) 広報活動の推進

福祉新聞は、計画通りに年3回の発行をしました。

(6) 理事会、評議員会は計画どおりに開催しております。